

COMPASS 発達支援センター 観音寺

令和5年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	8	法令の基準を上回る十分な広さを確保しており、活動内容や状況に応じて適宜うまく活用しております。		
	2	職員の配置数は適切である	8	現在、児発管1名、保育士3名、児童指導員3名、専門職員1名が在籍し、国の基準を満たした人員配置となっております。		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	現在、事業所内での車いすの使用はありませんが、室内は段差のないフラットな環境になっております。児童の特性に応じた環境づくりを心がけ、分かりやすい生活動線や安全に配慮しております。		
業務改善	4	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	8	定期的なミーティングやリフレクション会議等で職員間の情報交換や共有を図り、個人の課題の把握、目標設定、振り返り等を行うPDCAサイクルを取り入れております。		
	5	保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	年に一度アンケート調査を実施し、集計内容を職員間で共有し、業務の改善に努めております。		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	8	COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上に努めております。		
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	定期的なアセスメントを行い、児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しを行っております。また、関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。		
	10	児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	標準化されたアセスメントツールを活用し、的確な状況の把握に努めております。		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	児童の特性や課題を職員間で共有し、共通理解のもと、一人ひとりの目標に応じた課題や、季節に合ったプログラムをチームで立案しております。		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	プログラムが固定化しないように、個別活動では個々に必要な課題を提供し、集団活動では製作やおでかけを通して季節の変化に興味を持てるようにしております。また、実際に体験することで、社会経験の幅が広がるように工夫しております。		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	平日は、継続的な学習課題に取り組み、長期休暇は、普段の学習課題に加えて、長期休暇中の目標を定めて、一人ひとりに適した活動課題を設定しております。また長期休暇時には季節のイベントに加えて集団で楽しめる活動をバランスよく提供しております。		
	14	児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	8	児童の特性や状況に応じて、個々の成長を支援する場面と、集団の中で社会性を育む場面と両面から計画を作成しております。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	前日の振り返りをもとに、支援開始前に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の確認を行っております。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	支援終了後には全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、連絡ノートを活用したり、翌日に振り返りを行ったりすることで、活動中に気づいた点などの情報を共有しております。		
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	日々の療育内容や生活面での気づきを経過記録に残すことで、情報を共有し支援の改善に繋げております。		
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	6カ月以内には必ずモニタリングを実施し、保護者様のご意向を踏まえて児童の現状を把握したうえで計画の見直しを行っております。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	児童一人ひとりの課題や状況、支援計画の内容を考察し、ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせた具体的な支援計画を作成しております。			
関係機関や保護者様との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参加している	8	担当者会議には児童の状況や保護者様のニーズを一番把握している児発管や、その児童に多く関わりを持つ職員が参加しております。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	行事予定などのプリントを事前に提示していただき、送迎の変更など情報伝達できています。また保護者様の許可を得たうえで、学校とも定期的に連絡を取り、共通理解に努めております。		
	22	医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている	8	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	児童が通っていた支援事業所などの関係機関と話し合いの場をもち、情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるように心がけております。		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	担当者会議等を通して支援内容の情報共有と相互理解を図り、支援の方針が統一されるよう心がけています。進路については、保護者様と相談を行い、依頼があった際には移行先への情報提供を行っております。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	専門機関との連携に努め、情報交換、助言を受け、他事業所とも意見交換ができるよう連携を図っております。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	8	現時点では、交流の機会はありません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討を行ってまいります。	
	27	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	8	今年度より地域の自立支援協議会の児童部会が立ち上げとなり、準備会から参加しております。		
	28	日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状態や課題について共通理解を持っている	8	連絡帳のやり取りや送迎時、家庭連携の面談等を活用し、保護者様との情報交換を行い、児童の現状や課題について、共通理解を深めております。		
	29	保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	8	保護者様の子育てのお悩みなどには職員間で話し合い、適切な助言をさせていただき、ご家庭でも取り組めるよう分かりやすくお伝えしております。		
保護者様への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	契約時には、児発管が分かりやすい説明を心がけ、変更等があった際はその都度改めてご説明しております。		
	31	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	日頃からコミュニケーションを図り、ご相談やお悩みなどを相談しやすい雰囲気作りを心がけております。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	8	現時点では父母の会や保護者会などは開催できておりません。	今後、保護者様のご意向も伺いながら、交流の機会の検討を行ってまいります。	
	33	児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者様に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。全職員が共通理解に努め、保護者様や児童に安心して利用していただける環境づくりを目指しております。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	8	公式 Web サイトや LINE 公式アカウント等でブログの更新や事業所の様子をお伝えしております。また年4回季刊誌を発行しており、日々の様子は、毎月の事業所カレンダーに掲載しております。		
	35	個人情報の取扱いに十分注意している	8	個人情報の取り扱いが徹底しており、関連書類は全て鍵付き書庫に保管しております。情報使用時には保護者様に書面での同意をいただくように配慮しております。		
	36	障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	児童の特性や状況に合わせて分かりやすい手段での情報伝達に努めております。保護者様にも丁寧に伝わりやすい表現を心がけております。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	今年度は、事業所のイベントに地域の方々を招待する機会はありませんでした。	保護者様のニーズを確認し、同意をいただいたうえで児童と地域住民の方々が一緒に参加できるような行事の企画を検討してまいります。	
	非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	緊急時の対応マニュアルを作成しており、保護者様や職員にも見やすい場所に掲示しております。	
		39	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	毎年、年度初めに年間計画を立て、地震・火事・風水害・不審者への対応などの避難訓練を定期的の実施しております。	
40		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	定期的な職員研修を実施し、虐待防止への理解と意識向上に努めております。		
41		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	現時点で該当者はいませんが、利用契約書には身体拘束の禁止が記載されており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束を行う場合には、あらかじめ文書により保護者様の同意を得ることとしております。		
42		食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	8	保護者様より情報共有していただき、全職員で情報共有しております。また定期的に状況確認を行い、情報を更新したり、室内の伝言板に記載したりして、全職員の周知に努めております。		
43		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	ヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有してまいります。ファイルで保管し、事例は振り返りを行い、再発防止に努めております。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。